

清新澁刺



Handsome

New Year 2025 No.416

巻頭記事

年頭のごあいさつ

令和6年度鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会開催

12月例会開催 12月例会を終えて・忘年会開催／

令和6年度中海圏域青年経済団体交流事業開催

卒会予定者より／対抗戦報告／新店オープン／編集後記

◆発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 永井 拓未 ◆編集責任者:担当副会長 高岩 雄一 ◆制作・編集:第50期中央会発信委員会 委員長 新井 翔太

年頭のごあいさつ

鳥取県西部中小企業青年中央会
第50期会長 永井 拓未



事が、思わぬ形で繋がっていくことを示しています。日本のことわざにも、「風が吹けば桶屋が儲かる」という言葉があります。これもまた、一見すると全く関係のない出来事が、連鎖して意外な結果を生み出すことを表しています。これらの言葉は、私たち一人ひとりの小さな行動が、いかに大きな影響を与え、どんな小さなことでも世界を変える力を持っているということを教えてくれます。

私たちの活動は小さな力かもしれませんが連鎖すれば大きな力を生みます。

私たち一人ひとりの力は、確かに小さく感じるかもしれませんが、その小さな力が、周囲の人々に伝わり、連鎖していくことで、想像を超える大きな力となるのです。それはまるで、川の流れのようなものです。小さな水滴が集まり、小川となり、川となり、海へと流れ込んでいきます。私たち中央会の活動も同様に、大きな流れを作り出すことができると信じております。

今期のスローガンは「清新澁刺」です。新しいことに挑戦し、活力に満ち溢れるような一年にしましょう。我々は50周年という節目を迎えた今こそ、清新澁刺たる意気と熱意による実践活動を行い、地域経済の活性化に貢献できるよう、全力を尽くしてまいります。

最後に、皆様のさらなるご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。

鳥取県西部中小企業青年中央会 会長の永井拓未でございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ブラジルの蝶の羽ばたきがテキサスで竜巻を引き起こすかもしれない、という「バタフライエフェクト」という言葉をご存知でしょうか。まるで無関係な出来

年頭のごあいさつ

鳥取県中小企業青年中央会

第50期会長 足立 駿



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、県青中の活動に関して格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度のスローガンを「承前啓後」(しょうぜんけいご)と掲げ、諸先輩方が残された偉大な功績に感謝し、また文化や歴史を尊重しつつ次世代に繋いでいくことを念頭に活動しております。昨年を振り返りますと7月の通常総会・懇親会を皮切りに9月には委員長・副委員長交流会、10月には親睦事業の開催と福井県で開催されました団体中央会全国大会への参加と上半期の事業を展開して参りまし

た。委員長・副委員長交流会ではバブルサッカー(上半身と頭を覆うビニール製のバブルボールを身に着けて行うサッカー)を通じ会員同士の交流を図りましたが、通常のサッカーと同等以上に戦略性を必要とし、ホワイトボードを持ち出し会員の動きを確認する等、大いに盛り上がりました。また、親睦事業では「語り合おう、これからの中央会」をテーマにディベート(討論会)を開催しましたが、50周年を迎えた当会の今後の活動の一助となる内容になったのではないかと思います。

県青中の活動意義は学びや自己研鑽もありますが、限られた事業数であることを考えるとやはり第一は他地区との交流ではないでしょうか。近年、地方経済や中小企業を取り巻く状況は厳しく、労働力不足や後継者不足、働き方改革などの課題に直面しています。これらの諸問題やビジネスチャンスに対し、一緒に向き合える仲間が全県下にいるということは大きな強みになります。事業に参加してこそ生まれる縁がありますので、今後もぜひ積極的にご参加いただければと思います。

残る下半期も「承前啓後」のテーマの下、諸先輩方の築き上げた基盤の上に立ち、新たな一步を踏み出し、会と会員の皆様の成長と発展を追求していきたいと思います。当会の綱領でもある「英知・友愛・団結」を胸に後半戦もしっかりと活動して参りたいと思いますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

令和6年度鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会開催 青経連大運動会～秋だよ！青経連だよ！青年経済人全員集合～

令和6年11月28日に鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会(以下青経連)が開催されました。

運動不足が課題となっている現代。特に30代、40代の運動習慣が深刻とのことで、交流は運動会からスタートしました。青経連4団体がランダムに4チームに分かれ、綱引き、サイコロリレーと、それぞれのチームが協力し体を動かすことができました。

その後の懇親会では運動会のチーム毎にテーブルが設けられ、他団体との交流もしっかりとできました。鳥取県西部地区の今後についての意見交換の場となっている事業です。今回参加が出来なかった方は是非参加下さい。

運動会、懇親会を通じて、団体を越えた笑顔が沢山みられたことが、本事業の大切さであると思っています。

総務委員会 藤原 直之(有限会社サンワ 常務取締役)



12月例会開催 「伝える力を高める～思いを効果的に伝えるために～」



令和6年12月16日、国際ファミリープラザ ファミリーホールにて、第50期鳥取県西部中小企業青年中央会12月例会が開催された。冒頭の永井会長の挨拶では「今期お地蔵さまフェスティバルが10周年を迎える。地域に根ざし、継続してできる事業にしたい。課題はあるが、難しいことにチャレンジするのが青年中央会だと思うので、団結して事業を成功させましょう」と述べられた。続いて、10月入会の皆川会員へのバッジ授与が行われ、今後に向けた抱負を力強く語られた。続いて会員拡大表彰が行われ、前期の優秀委員会として総務委員会の山根委員長、最優秀委員会としてビジネス経営委員会の田本委員長が表彰された。



本例会では、八百谷コミュニケーションアカデミー代表の八百谷和子氏が講師に迎え、「印象力に基づく3Stepスキルアップ術」を講義いただいた。伝える力は身につけたら、一生活用でき、もっと楽に効果的にビジネスができるようになるという魔法のような講義。ワークを交えながら、視覚情報・言語情報・聴覚情報を整え、最後は声の力を高めるボイストレーニング。明るくなった会員の声が会場中に響き渡り、参加者全員が笑顔で積極的に取り組んだ本例会は、まさに今期のテーマ「明るく、元気に、前向きに」を体現した例会だった。
(記事：石井)



12月例会を終えて

中央会発信委員会 委員長 新井 翔太 (サンインフーズ株式会社 営業部 課長)

ハンサムのコナーにも載せておりますが中央会発信委員会は、言葉を学ぶとして活動しております。言葉を相手に正しく伝える為には、コミュニケーション能力「伝える力」が重要になると考え、12月例会では「伝える力」を高める例会を企画いたしました。講師に八百谷和子(やおたにかずこ)氏をお迎えし、会員の皆様には楽しく学んでいただき、スキルアップに繋がる例会になったと感じております。

忘年会開催



例会後は場所をバンケット&ウェディング シュシュに移し、忘年懇親会が開催された。委員会対抗歌自慢大会では、各委員会が個性豊かなパフォーマンスで会場を沸かせ、一年の労を労い残す半期に向かい団結力と士気を高めた。

永井会長、中西専務理事の採点で、優勝は総務委員会! 圧巻のパフォーマンス写真を掲載したいところではありますが、差し控させていただきます。(記事：石井)



令和6年度 中海圏域青年経済団体交流事業開催



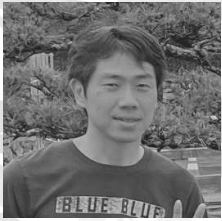
令和6年12月5日(木) 安来市の『停雲』にて令和6年度中海圏域青年経済団体交流事業が開催され、鳥取県西部中小企業青年中央会からは永井会長、足立県会長をはじめとする15名が参加した。冒頭、安来商工会議所青年部遠藤会長より「仕事の繋がりがなければ安来の地でご飯を食べる機会もないと思います。本日は安来の料理を食べて頂きながら中海圏域の話をはじめ、色々な話をして頂きたい。」と述べられた。

1分間スピーチコンテストや各団体のPRタイムを通し大いに盛り上がった。交流事業は安来商工会議所青年部添田直前会長より「本日も含めコロナが明けてからこのような交流事業の大切さを感じている。」とのお言葉で締めくくられた。

総務委員会 松原 知大
《日本海冷凍魚株式会社 リーダー》



卒会予定者より『澆刺と未来へ』



令和元年8月入会 総務委員会 佐々木 崇 (株式会社鳥取銀行安来支店 支店長)

第45期入会の佐々木崇です。転勤の多い職場なので正直卒会を迎えるとは思っておらず、ここまで来たら卒会したく転勤がないことを願っております(笑)

入会時は総務委員会(住委員長・徳中副委員長)に配属となり、「想像以上にしっかりとした会だな。それにしては副委員長って大変そうだなあ」という感想で訳も分からず活動に参加し最優秀委員会を受賞したことは強く印象に残っています。

大変なこともたくさんありましたが、中央会活動を通じて多くの仲間と出会い、貴重な経験・学びを得ることができました。また、会員一人一人が社業でお忙しい中、会の活動に熱心に取り組む姿勢は尊敬の念に堪えません。より多くの方々に中央会を知ってもらえるように周知を図っていきたくと思います。

これから卒会を迎える皆様方にはくれぐれもお身体をお大事に活動に取り組んでいただけたらと思います。6年間大変お世話になりました!今後ともよろしくお願ひ致します!



第48期政治行政委員会卒会旅行

中央会野球部 対抗戦報告

令和6年11月23日(土) 午後、伯耆町総合スポーツ公園野球場。東部青年中央会野球部が昨年のリベンジを果たさんと西部に再び乗り込んできた。鉛色の空、10℃を下回る気温、野球を楽しむ気候ではないがプライドを懸けた熱い真剣勝負にはちょうど良い。

ユニフォームを新調した永井監督率いる西部は先発柳谷の力投で試合を作る。しかし、投手中心に守りが固い東部から得点できず、5回表を終わって2-0とリードを許す展開。『東部には絶対に負けてはならない』OBの先輩方から受け継がれている言葉が重くのしかかっていた。

日が落ちて暗くなり小雨も降り始めていた5回裏。山根大生が値千金の2点適時打を放って同点に。そのまま2-2で迎えた6回裏、東部のバッテリーミスにより西部が劇的なサヨナラ勝ちを収めた。

試合後は大連で遅くまで東部の皆様と野球談義に花を咲かせて懇親を深めた。東部の皆様、今年も遠くから本当にありがとうございました。

中央会発信委員会 野口 浩一 (川中・野口法律事務所 弁護士)



新店オープン

カラオケスパイラル東伯店

12月5日、スパイラル東伯店をオープンいたしました。会員の皆様からお祝いのお言葉や温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

11月21日に物件契約を締結してから、全従業員の力を結集し、約3週間という短期間でオープンに至ることができました。これからは、地元の皆様に愛される店舗を目指し、一層努力してまいります。

また、人口の3分の1がカラオケ愛好者と言われるので、カラオケをより身近に、いつでも楽しめる環境を提供することで、地域社会に貢献していきたいと考えております。

今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

直前会長 中村 友紀 (株式会社サソイントウエイ 代表取締役社長)



餃子スタンドだるま

ビジネス経営委員会の徳中です。この度米子市角盤町に『鶏と餃子スタンドだるま』をオープンしました。

長年皆様にお世話になっている『大連』とは一味違う業態ではありますが、地元の飲食業界を盛り上げていきたいと思っています。

夜遅い時間帯まで楽しんでもらえるようなお店作りをしていますので是非寄ってみてください。

県出向理事 徳中 太慈 (株式会社大連 代表取締役)



『餃子スタンドだるま』に行ってきました!

徳中県出向理事の大連さんの新店舗「鶏と餃子 餃子スタンドだるま」が角盤町にオープンしたということで、中央会発信委員会の忘年会も兼ねて訪問しました。

名物はお店の名前にあります「餃子」になります。焼きたての餃子から漂う香ばしい香りに食欲がそそられます。味はパンチが効いていてやみつきになること間違いなしです。他にも大山鶏のちりとり鍋や炭火焼をいただきました。出てくる料理すべてが絶品で委員会メンバーの箸も止まらず、あっという間に料理はなくなりました。

皆さまも是非行ってみてください!

(記事: 皆川)



編集後記

42期以来の広報系委員会です。この間にホームページが新調され、フェイスブックやインスタグラムが活用されるようになりました。ハンサムは毎月発行ではなくなり、みんなで集まっての編集会議もありません。時の流れを感じます。(野口 浩一)